

# 比重選別機を導入

## マテリアルR事業強化

### 富山環境整備

産廃・一廃の収集運搬、中間処理、リサイクル、最終処分などを総合的に手掛ける富山環境整備（富山市、☎076・469・5356）は、容器包装プラスチックのマテリアルリサイクル事業で湿式比重選別機を導入し、再生品の高品質化を図るとともに処理能力向上を目指す。

導入したのは御池鐵工所（広島県福山市）の廃プラスチック湿式

選別システム「プラセオンエース」で5ラインに設置。PP、PE、塩化ビニールのほか、発砲スチロールと塩ビの分離など、使用目的に合わせた選別が可能で、質の高い2次製品の製造が可能となった。

材料リサイクルの処理フローは、原料ペー

接する処理施設にて生物処理後、循環利用している。処理残さは、現在セメント会社向けのサーマルリサイクルであるが、今回稼働を開始した事業所内の廃棄物発電併用型焼却施設の燃料として有効利用する予定で、「容リプラの一極集中・完結型のリサイクルシステム」となる。

製造した材料は自

のリサイクルシステムで、幅広い受注基盤を形成している。

成型加工ラインは既存の1000トプレス1台と3000トプレス5台に、昨年500トプレス2台を導入し、年間3万ト以上の生産能力があり、今後さらに3000トプレス2台を導入する計画。成型加工ラインは独自設計で、プラスチック関連機器の販売を行うコーハン（名古屋

生製品の販売窓口となり商社などへ販売され、全国規模で流通している。

現在は物流用のリバースパレット（エコマーク登録商品）の製造が主流だが、新製品であるOAフロアー（床パネル）も備えており、

「リバースブランド」としての納入実績を増やしている。

同社は、富山市の処分業の許可において産業廃棄物処理業者の優良性の判断に係る評価基準の適合を受け、リバース工場ではISO9001、14001